

「令和2年産水陸稲の収穫量（関東農政局管内）」12月9日公表の補足資料

関東農政局統計部

【茨城県の概要】

1 水稲

(1) 茨城県における令和2年産水稲の作付面積（子実用）は6万7,800haで、前年産に比べ500ha減少した。

また、主食用作付面積は6万5,500haとなった。

(2) 全もみ数（穂数×1穂あたりもみ数）は、穂数がやや少ない、1穂あたりもみ数が平年並みとなったことから「平年並み」となり、登熟は、8月上旬以降の高温・多照の影響により「やや良」となった。

(3) この結果、茨城県の10aあたり収量は531kgで、前年産に比べ27kg増加した。

また、作柄表示地帯別では、北部で527kg（前年産に比べ17kg増加）、鹿行で531kg（同19kg増加）、南部で531kg（同30kg増加）、西部で536kg（同37kg増加）となった。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.85mm）で選別された茨城県の作況指数は103となり、作柄表示地帯別では、鹿行で104、北部及び西部で103、南部で102となった。

(4) 以上のことから、収穫量（子実用）は36万tで、前年産に比べ1万5,800t増加した。

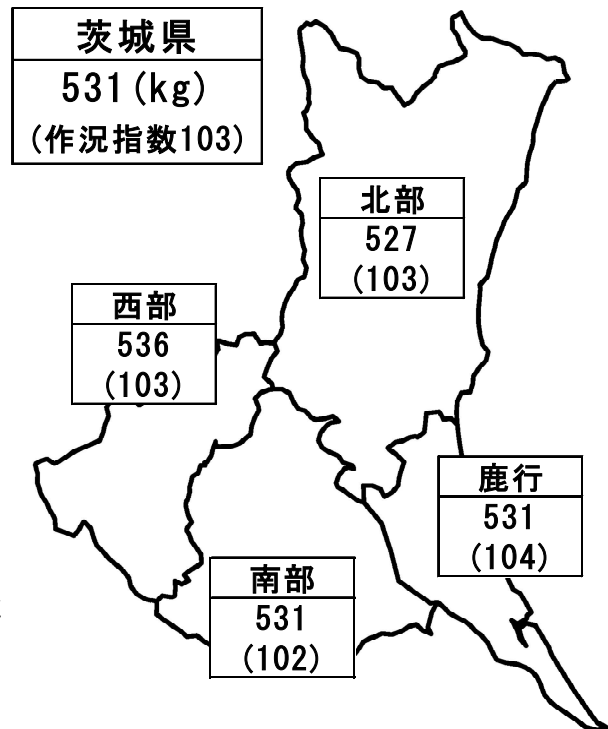
また、主食用作付面積に10aあたり収量を乗じた収穫量（主食用）は34万7,800tで、前年産に比べ1万3,100t増加した。

2 陸稲

令和2年産陸稲の作付面積（子実用）は447haで、前年産に比べ40ha減少し、収穫量（子実用）は1,100tで、前年産に比べ70t減少した。

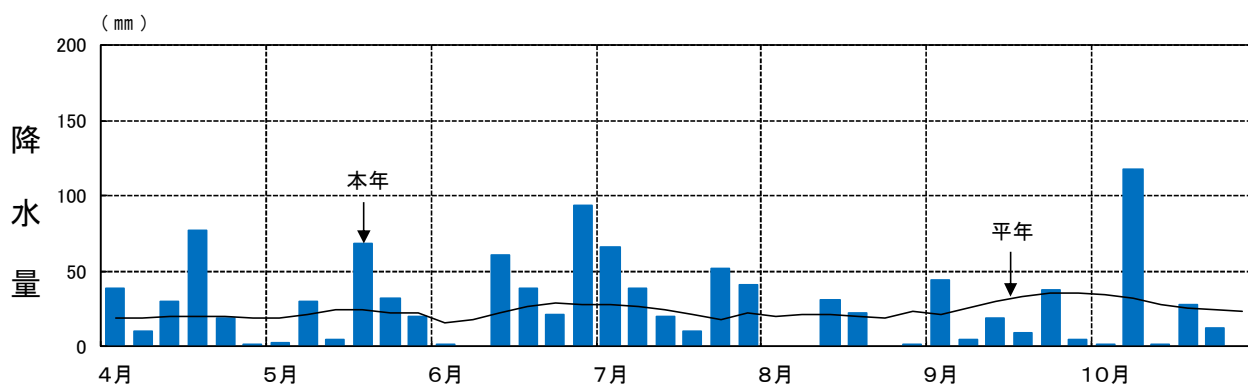
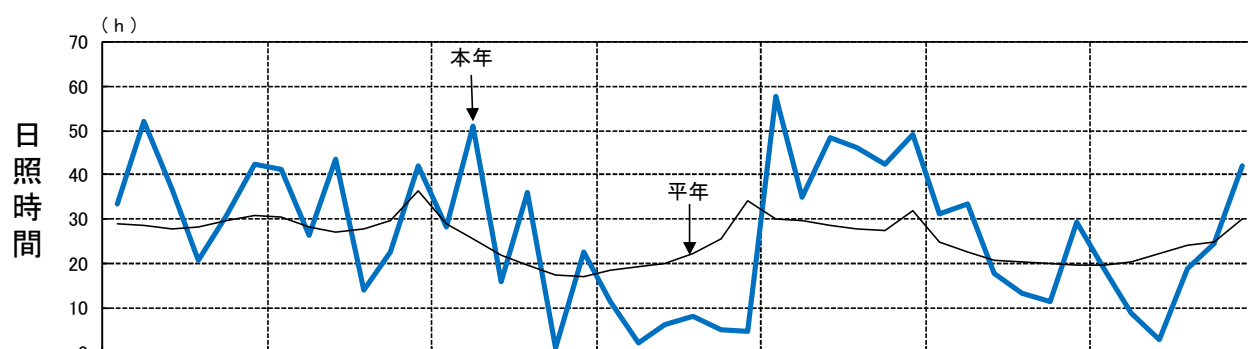
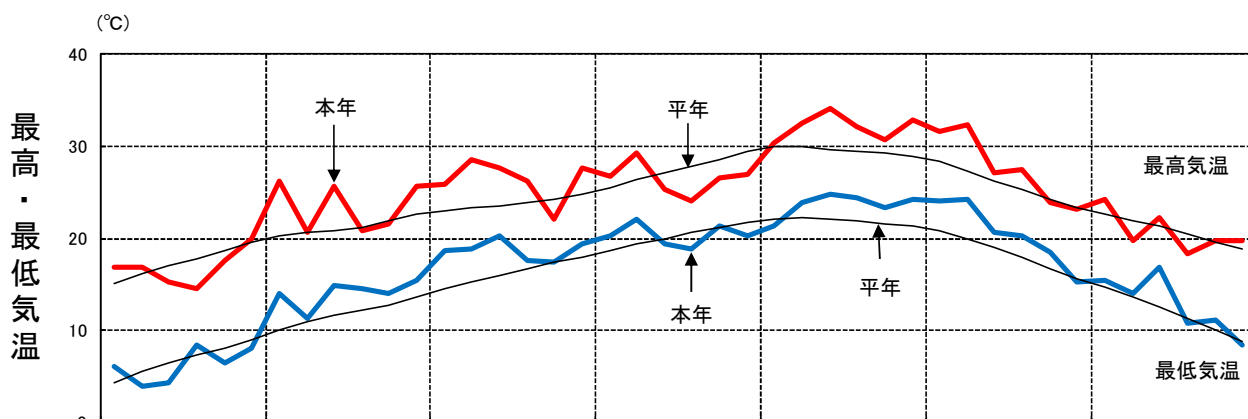
○ この資料は、「令和2年産水陸稲の収穫量（関東農政局管内）」12月9日公表の補足資料として作成したものです。
詳細については同公表資料を御覧ください。

図 水稲の作柄表示地帯別
10aあたり収量及び作況指数



本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和2年 半旬別気象（水戸）



資料：気象庁

水稲の耕種期日 \longleftrightarrow 田植期 \longleftrightarrow 出穂期 \longleftrightarrow 刈取期
 $5/7(+1)$ $8/2(+4)$ $9/13(\Delta 1)$

注：田植期、出穂期及び刈取期の期日は、いずれも最盛期を示す。
 なお、()内は、平年との遅速（日数）を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について
 関東農政局 茨城県拠点 統計チーム
 電話：029-231-2266
 F A X：029-227-1535